



寺島中だより

教育目標

「深く考え自ら学ぶ生徒」「心豊かで思いやりのある生徒」「健やかでたくましい生徒」



『 一年を振り返り 新年へ 』

◆早いもので、今年も師走を迎えました。師走の街には、クリスマスツリーや色とりどりのイルミネーションが華やかに輝き始めてきました。朝晩の冷え込みも、日に日に増してきたようです。皆様におかれましては、体調を崩さないようご自愛ください。年末・年始を控え、各ご家庭でもその準備のためにお忙しい時をお過ごしになり、子供たちが大掃除や年始の挨拶など、家庭での役割を果たしながら大きな節目を迎えます。このような時こそ、落ち着いた中で一年を振り返り、新たな目標を立てさせたいものです。

振り返る際にはよく反省をしますね。そのような時にマイナス的な評価をよくしてしまい、「できなかったこと」や「失敗したこと」だけに注目しがちです。それだけではなく、ぜひとも「良かった点」や「よくできた点」を評価するプラス思考の振り返りもしてほしいと願います。

この一年をじっくりと振り返り、新たに迎える年に、新しいことに積極的にチャレンジできるよう、準備をしっかりと整えてください。



◆1964年10月1日に開業した東海道新幹線の開発に係わった、技術士・島秀夫さんの言葉です。

『出来ない』というより『出来る』と言う方がやさしい。
何故なら「出来ない」と言うためには、何千何百とある方法の全てを「できない」と証明しなければならない。
しかし、「出来る」と言うためには、数々ある方法の中からたった一つだけ「出来る」と証明すればいいからである。



もう一つ・・・

95点か。なぜ5点が取れなかったか考えなさい。ほめるのは、それからです。

- 今までの自分自身の行動（取り組み）を振り返った時・・・
 - ・たくさん方法を試してから「できない」と言っていますか？
 - ・一つの方法をやって、もう「できない」とあきらめてしまったことはありませんか？

自分の目標の達成に向け、いろいろな方法を試してみることが大切です。あきらめずに、いろいろなことに挑戦して欲しいと思います。

- あと5点をとるには・・・
 - ・満点が取れなかった原因を考えることは、きっと次に繋がるはずです。

『あきらめたらそこで試合終了ですよ。』

漫画「スラムダンク」より。

